

第11回国際シンポジウム 開催報告

開催日：2008年11月19日
会場：国際文化会館
参加者：約80名
テーマ：CSR時代の国際社会貢献

第11回目を迎える2008年度の国際シンポジウムは、今回は、「CSR時代の国際社会貢献」のテーマのもと、昨年からは日本で開始され大きな成功を収めている「Volvic 1L for 10L（ワットター・フォー・テンリッター）」キャンペーンについて、NGO・消費者・受け入れ国側などの観点から検証しました。

【スケジュール】

13:00-13:45	開会挨拶 水谷雅一（経営倫理実践研究センター会長）
13:45-14:15	基調講演① 「消費者と支援活動をつなぐ社会貢献活動 -Volvic 1L for 10L プログラム-」 ダノンウォーターズオブジャパン株式会社 代表取締役社長 リチャード・ホール氏
14:15-14:45	基調講演② 「清潔で安全な水を子どもたち -子どもたちの命と成長のための活動-」 ユニセフ・マリ事務所 水と衛生事業担当官 トゴタ・ソゴバ氏
15:00-16:40	パネルディスカッション パネラー 浦上 綾子氏（財団法人日本ユニセフ協会 個人・企業事業部） 古谷由紀子氏（社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会） 鈴木 均氏（日本電気株式会社 CSR推進本部 CS推進部長兼 CSR推進室長） 藤原かおり氏（ダノンウォーターズオブジャパン株式会社 Volvic 1L for 10Lプログラム担当） コーディネーター 梅津 光弘氏（経営倫理実践研究センター前任研究員）
16:40-17:00	質疑応答